



# コロナ禍で変化した学習支援について ～「図書館ツアー」を中心として～

北九州市立大学 情報化推進課（図書館）

石原由貴

## 背景

当館では例年、4月から5月にかけて新入生向けの「図書館ツアー（館内を見学する『館内案内』と情報検索の基礎を学ぶ『情報検索講座』）」を開催していたが、2020年度～2021年度にかけては新型コロナウイルス感染拡大に伴い、対面での実施が困難となった。しかし、図書館ツアーは当館における図書館利用教育の重要な取り組みであり、これまで学部を問わず多くの教員から必要とされ、授業単位で実施されてきたことから、代替策として『館内案内』と『情報検索講座』の動画コンテンツを作成し提供した。感染状況の収束とともに、実施時間を短縮した個人向けミニツアーを行うなど、形態を変えながら「図書館ツアー」の再開に向けて取り組みを行ってきたが、ようやく今年度完全対面での「図書館ツアー」が再開となった。今回は、2019年度～2023年度までの取り組みについてどのように変化し対応してきたかを紹介する。

## 2021年度～2022年度の取り組み

＜2021年度＞

- ・『館内案内』を一部再開し、少人数・短時間での個人向けミニツアーを実施
- ・授業単位での実施は行わず2021年度は動画コンテンツの提供のみ

＜2022年度＞

- ・授業単位での『館内案内』のみ再開し、少人数・短時間での個人向けミニツアーも継続
- ・『情報検索講座』は動画コンテンツの提供のみ

＜個人向けミニツアーの様子＞



## 2019年度の実施状況（コロナ禍以前）

＜「図書館ツアー」の概要＞

『館内案内』 + 『情報検索講座』

(45分)

(45分)

※授業1コマ分

- ・館内案内・・・利用方法や資料の配架場所などについて館内を回りながら職員が案内
- ・情報検索講座・・・OPAC、CiNii、新聞検索DBについて職員が講師となり実習形式で実施

＜参加状況＞	学生数 (入学者数)	①探検ツアー		②情報検索ガイダンス	
		参加人数	参加率	参加人数	参加率
外語学部	245	226	92.2%	226	92.2%
経済学部	300	299	99.7%	299	99.7%
文学部	231	159	68.8%	81	35.1%
法学部	256	194	75.8%	194	75.8%
地域創生学群	129	121	93.8%	121	93.8%
大学院	55	21	38.2%	21	38.2%
合計	1,216	1,020	83.9%	942	77.5%

＜実施の様子＞



## 2023年度の取り組み

『図書館ツアー』の全面再開

- ・2019年度の内容を一部変更し再開（個人向けミニツアーも継続）

【変更点】

- ・『館内案内』ルートの見直し
- ・『情報検索講座』の動画コンテンツ活用
- ・持参したPC及びスマートフォンでの受講

＜参加状況＞

	学生数 (入学者数)	①館内案内		館内案内 + 個人向けミニツアー		②情報検索ガイダンス	
		参加人数	参加率	参加人数	参加率	参加人数	参加率
外語学部	276	152	55%	168	61%	128	46%
経済学部	309	283	92%	307	99%	283	92%
文学部	234	232	99%	266	114%	0	0%
法学部	259	171	66%	196	76%	152	59%
地域創生学群	124	0	0%	11	9%	0	0%
大学院	40	0	0%	0	0%	0	0%
合計	1,202	838	70%	948	79%	563	47%

＜実施の様子＞



## 2020年度の取り組み

＜動画コンテンツの提供＞

2019年度実施内容を動画コンテンツに落とし込み、提供準備が整った5月末より公開を開始。提供方法はYouTubeでの限定公開。

- ・館内案内・・・3本（本館1F、本館2・3F、書庫棟）の動画コンテンツを提供  
※YouTubeでの限定公開とし、図書館ホームページよりアクセスできるよう設定
- ・情報検索講座・・・4本（導入、OPAC、CiNii、新聞検索DB（約30分）（間蔵Ⅱ））の動画コンテンツを提供  
※YouTubeでの限定公開とし、「My Library」よりアクセスできるよう設定

＜視聴回数＞

館内案内		情報検索講座	
1_【本館1F】図書館探検ツアー	428回	1_2020年度データベース（導入）	449回
2_【本館2・3F】図書館探検ツアー	226回	2_2020年度データベース（OPAC）	460回
3_【書庫棟】図書館探検ツアー	181回	3_2020年度データベース（CiNii）	506回
		4_2020年度データベース（新聞記事：間蔵Ⅱ）	464回

## 今後の課題

コロナ禍で対面サービスからの変化を迫られたものの、動画コンテンツの提供という新たなサービス展開ができたことは大きな収穫であった。コロナ禍でなければこうしたコンテンツの作成に積極的に取り組むことはなかったと感じている。しかし、こうしたコンテンツを永続的に提供できるかは大きな課題である。現在担当しているスタッフが常に作業できるとは限らない状況も踏まえ、常時複数人のスタッフがこうしたコンテンツ作成や管理にあたる必要がある。新しく提供したサービスをいかに継続していくかが今後の課題といえる。

館内案内



情報検索講座



期間中、一部の動画を限定公開しているわん！

